

9月～10月の2N総合実習

林業甲子園に向けて、木材の重量を測る事前学習をしました。65mm×65mm×2000mmのヒノキ材だと13kg前後、直径25cm、長さ2mほどのヒノキの丸太は33kgでしたが、見た目と重さの感覚から正確な重量を推測するのは、意外と難しいことが分かりました。



木材加工の実習では、図面から墨付けした木材を手のみを用いて「ほぞ穴」を掘る実習に入りました。最初は慣れない手つきでしたが、数回繰り返すと手際よく加工できるようになってきます。11月から12月にかけて東濃檜の椅子は完成する予定で実習を進めています。

